

2018
4

Vol.163

きくがわ

タウン
情報

世帯数	3,260
人口	7,987
男	3,859
女	4,128

(2月末菊川の人口)



イベント
情報

さくら祭り

4/7 (土) 12時~18時

菊川小西側河川敷 ★ぜんざい無料接待★

イベント
情報

万年青 ふれあい祭り

4/22 (日) 10時~15時

グループホーム万年青 駐車場
問合せ: グループホーム万年青 (34-3236)

菊川のひと 菊川探訪 笑顔リレーほか

発行: 住みよい菊川をつくる会 問合せ: 菊川市民センター(旧菊川公民館) 0834-62-2801

「公民館」が「市民センター」へ
平成30年4月1日より、「菊川公民館」は「菊川市民センター」へと変わります。

これまで公民館では生涯学習事業や地域団体の活動支援を行ってきましたが、これからは公民館の機能は維持した上で、これまでの公民館ではできなかった収益を生む活動など、地域の事情に応じて、より柔軟で自由度の高い地域づくりが展開できる施設へと生まれ変わります。支所・電話番房等はこれまでと変更ありません。これから、公民館からのお知らせには「菊川市民センター」と表記しますので、ご注意ください。

菊川地区夢プラン策定に向けて

「菊川地区夢プラン」(夢プランとは、地区の住民が中心となって、地域のあるべき将来像(夢)を描き、その将来像(夢)の実現に向けて取り組む「地域の活性化計画」のことをいふ)について、これから策定に向けての準備を進めていくことを住みよい菊川をつくる会の役員会で確認しました。

今後、策定に向けての準備として、住みよい菊川をつくる会の役員が、各地区や各団体の実状、及び地域の課題等を聞き取る作業を行います。その後、菊川地区夢プラン策定のための委員を公募します(公募する時期は別に案内します)。

菊川地区が今以上に住みよい菊川になるよう、地区住民が対話を通して話し合いを進めていきます。

きくがわ コミュニティ・スクールから お知らせ

新コーナー「きくがわスクールネット」。このコーナーでは、コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置し地域との連携を深めている学校)について、お知らせします。昨年度も多くの活動を地域の方たちと行いましたので、その一部をご紹介します。



菊川中: つつじの剪定



菊川小: そろばんの支援



菊川中: 菊川まつりの企画運営



菊川小: いも植え(掘り)

また、菊川小・中学校コミュニティ・スクールのキッズフレーズが、「きくがわスクールネット」元氣いっぱい、笑顔いっぱい、あいさついっぱいに決まりました。このキッズフレーズを地域のみなさんにも知っていただき、地域の子供達をみんなの力で育てていけたらと思います。

本 新刊情報!!

4月から貸出しを始めます。誰でも借りることができます。お気軽に支所・市民センター窓口までお越しください。



オススメ
その①



オススメ
その②



芥川賞
受賞!



芥川賞
受賞!



直木賞
受賞!



絵本

4月~ 新刊文庫リスト

書名	著者名
屍人荘の殺人	今村昌弘
崩れる脳を抱きしめて	知念実希人
銀河鉄道の父	門井慶喜
百年泥	石井遊佳
君たちはどう生きるか	吉野源三郎
おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子
不死身の特攻兵	鴻上尚史
隠蔽捜査7 棲月	今野敏
これはしないあれはする	小林照子
おしくらまんじゅう	かがくいひろし
もうぬげない	ヨシタシンスケ

下上地区と加見地区の見守り隊にインタビューをしました！！

- ①名前 ②いつから ③活動の頻度 ④気をつけていること
⑤大人にお願い ⑥大人にありがとう
⑦子供にお願い ⑧子供にありがとう ⑨一言

①坂口 徹さん (81歳)
②15年以上はやっていますと思います。

③週に4日程度、毎回1時間半くらい出ています。

④子供の後姿を確認してから、終えるようにしています。最後に学校の方向へ一度歩いてみて、子供が帰ってきていないか確認しています。それから、子供がこけて擦りむいた時の為にウェットティッシュやカッターを持って歩くようにしています。

⑤運転手さんにウインカーを早めに出すようにお願いしたいですね。意思表示をはっきり早く示してもらえると、子供達の安全を守ることが出来ます。

⑥大型のトラックやバスの運転手さんが、雨の日に歩行者に水がかからないようにゆっくり走り走ったり、横断する人に道を譲ってくれたり、本当に助かります。ありがとうございます。

⑦傘でついたりしないですね。

⑧笑顔でタッチしてくれることが凄く嬉しいです。

⑨子供達の顔を見て声を聞くと元気が貰えるから、元気な間は見守り活動を続けたいですね。



横矢地区で見守り活動をする坂口さん



岩屋地区で見守り活動をする藤井さん

①藤井 則孝さん (80歳)

②3年前から見守り活動を始めました。

③週に4日程度で低学年を見守った後、一度帰ってからまた高学年を見守りに来ます。

④少しでも周りを見渡せるように、雨の日は「二一」ル傘を持っていくようにしています。

⑤横断歩道に人がいるときは、やっぱり車が停まってくれれば助かりますね。

⑥保護者の方が目の前を通られる時によく頭を下げて行かれます。感謝の気持ちが伝わってきて凄く嬉しいです。

⑦農協の出入り口付近は車の量も多く、岩屋に行く道もありますから、かけて渡らないようにしています。

⑧子供からあいさつをしてくれて、手を握ってくれることが本当にうれしいです。手紙をもらったこともありますし、私の誕生日に折り紙を折って持ってきてくれた子もいました。

⑨健康が続く限りは続けたいと思います。子供達のおかげでこんな気持ちになりました。

①岡崎 若雄さん (87歳)
②見守り隊が始まったころからずっとやっているの15年以上だと思います。
③最初は火曜日か当番でしたから週に1回出ていました。今も当番制で月に1、2回出ています。
④見守る側の人として、交通事故がどのような原因で発生するのかわかることが大事だと思います。
⑤あまりないですが、ごくたまに横断歩道を赤信号で渡る大人を見かけますね。
⑥私が立っているとき、みなさん車の速度を下げてください。見守り隊が着る緑のベストが効果的なものかもしれませんね。
⑦危ないと思うことはありません。みんな歩道をしつかり歩いて登下校しています。
⑧いっぱいありますね。寒い冬の日でも半袖半パンの子供を見ると私も頑張らないといけないと思います。元気を貰います。それから見守り隊を始めた時の子供達が今は成人していますが、大人になっても挨拶してくれるのも嬉しいです。
⑨子供達が安心安全な未来をつくってほしいことを願っています。



井谷口で見守り活動をする岡崎さん

菊川 探訪

第32回

恩師との出会い (画家 安野光雅さんの場合)

小学校、中学校でこんな先生に出会ったか？大切である。津和野に美術館がある「安野光雅」さんが、「トモシカ先生」(ほかにもなるものがある)やむを得ずなつたこと(と自分自身で自虐的に書いています。旧加見小学校の代用教員の頃のこと)であるが、戦後同世代の男性が少なく、免許がなくてもやむを得ず事情であった。後年「代用教員を捨てた時が、一番先生らしく思っし、教科書もない時代だったから、何とか工夫して子供達に教えるつもりで、一所懸命だった」と書いています。理科の授業では、「蟻の研究」や「鮎作り」もした。

安野さんのお父さんは四熊出身で、お母さんは鹿野出身であり、戦後お父さんが疎開で四熊に過ごした(たぶん)四熊(復員)戦争が終わりの、故郷へ帰る(こと)した。安野さんは歳の離れた親子で育ったため、戦後仕事がない中、生活を支える孝行息子であった。善兄が仕入れた福刈の鎌を商し、一つも売れない経験もし、今宿の看板屋のアルバイトでは、進駐軍用の交通標識を描いた。又、徳山市役所土庫のアルバイトとして、測量作業もした。



旧加見小学校
(昭和31年度 卒業式)

加見小学校に採用したのは、当時校長であった恩師 石田勝美先生であった。採用の条件は、絵が描けるか(これはな)、「ピアノが弾けるか」であり、「英語」も必要で、「オルガン教則本」を借して、猛烈強さ(と)必死練習(と)もつ一人の恩師はその当時 徳山「講演」にいられた玉川学園の学長 小原国芳先生であった。その先生が、安野さんの絵を見て、「この絵を描いた人物を玉川学園の美術教師に招きたい」といわれ、石田校長が安野さんへ「後のことは自分でするから、この機会に東京へ行ってはどうか？」と勧めた(と)いうエピソードを披露している。この二人の軽妙な会話が、人生を変えたと思うこと不思議な出会いであったと思う。更に、石田校長は、お見合い結婚の世話もした。

恩師との出会いは大切であるが、人生を振り返る歳になって、やっと分かる話である。

笑顔リレー

かわいい笑顔を集めてみました。掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて広報部(菊川公民館内)までご連絡ください。



むーくん (3歳)

わがやのアイドル!



おとちゃん (1歳)

げんきいっぱい大きくなってね!!



かなちゃん (3歳)

たくさん食べて大きくなってね!